

Claude ・ Claude Code ・ Claude Cowork

製品比較レポート

エンタープライズ導入に向けた機能・技術・統制の完全マップ

対象製品: Claude / Claude Code / Claude Cowork

対象者: エンタープライズIT部門、CTO、エンジニアリングリーダー

データ基準: 2026年3月時点の最新公開情報に基づく比較評価

3つの製品が担う、全く異なるエンタープライズの役割



Claude

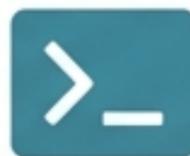
会話中心の汎用アシスタント

コア機能:

思考と意思決定を「会話」と「成果物 (Artifacts)」で回す統合環境。

主用途:

個人の生産性向上、横断調査 (Research)、チーム協働の起点。



Claude Code

開発者向け自律型エージェント

コア機能:

コードベースを読み、編集し、コマンドを実行し「実装して終わらせる」。

主用途:

機能実装、不具合修正、PR作成までのAgentic Coding。



Claude Cowork

知識労働向け自律型エージェント

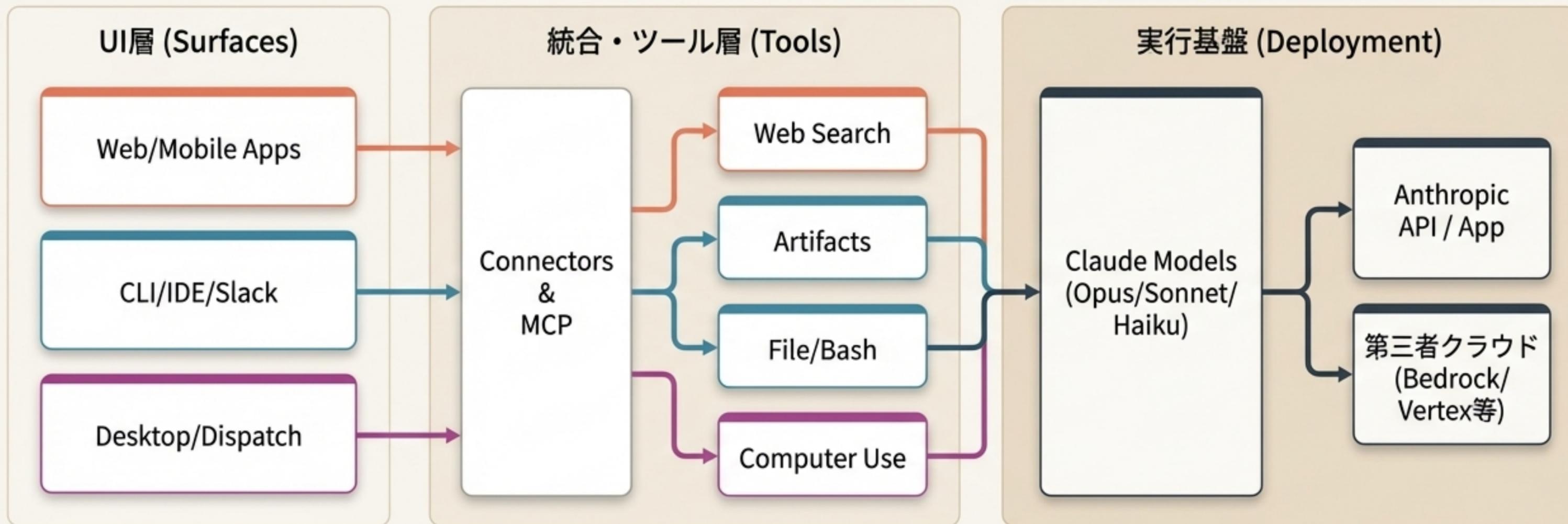
コア機能:

複雑なマルチステップ作業を代行し「整形済み成果物」を納品する。

主用途:

定型レポート作成、複数ツールを横断した反復業務の自動化。

共通の統合レイヤ (Connectors) が 全製品を基盤モデルへ接続する



ユーザーの役割 (汎用、開発、
業務運用) に応じた実行面。

Connectors (MCP含む) が共通のブリッジ
として機能し、社内データや外部ツールを
安全に統合。

Claude ModelsをAnthropic直、または第三者
クラウド経由で実行。

Claude: 思考と意思決定を「会話と成果物」で回す統合ワーク・スペース

位置づけ: 日常の文章作成・分析・意思決定支援に最適化された統合ワークUI。

モダリティ: テキスト、画像、音声 (UI機能として)、ファイル、コネクタ経由の社内情報。

最適ユースケース: 経営会議向けの競合動向調査 (引用付き)、企画書の草案作成と反復、画像を含む資料レビュー。

Research機能

ユーザープロンプト

自律的複数検索

Web

社内Wiki

Google Drive

引用付きレポート生成

Artifacts機能

The screenshot shows the Claude interface with a chat window on the left and an artifact preview on the right. The artifact preview displays a code snippet for a React component and its associated documentation.

15行以上の自己完結した文書・コード・Reactコンポーネント単体のバージョン管理

```
import React from 'react';
import React from 'react';

export default function HelloWorld() {
  return (
    <div>
      <h1>Hello World!</h1>
    </div>
  );
}
```

文章詳細
HTEB...LXX...-...-...-...

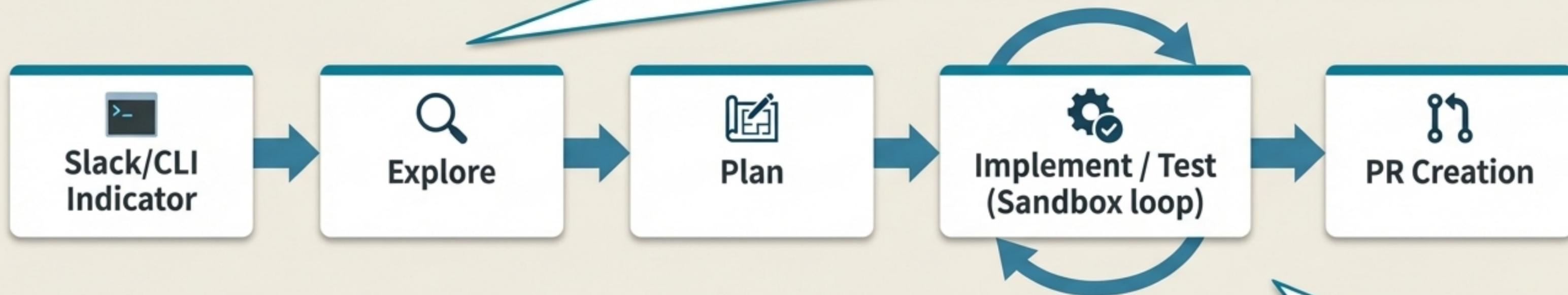
仕様
... ..

詳細仕様
... ..

Claude Code: リポジトリを理解し、実装からPR作成までを自律完遂する

位置づけ: 端末、IDE、ブラウザ、Slackで稼働する強力なAgentic Codingツール。

最適ユースケース: 不具合修正、リファクタリング、Slack起点での「依頼→PR」の自律運用。



強力な実行統制 (最重要)



サンドボックス

macOS (Seatbelt)、Linux (bubblewrap)、WSL2等を用いたOSレベルの隔離とbash実行。

権限制御

ツール/パス単位の細かいdeny/ask/allow設定とPreToolUseフック。

ZDR (Zero Data Retention)

Enterprise経由での推論・応答のゼロデータ保持運用が可能。

ハイブリッド実行面: CLI/ローカル実行、Web版 (Anthropic管理の隔離VM)、Remote Control、Slack (@Claude起点でのPR作成) をサポート。

Claude Cowork: 非エンジニアの反復業務を「成果物納品」として継続運用



統制・監査上の制約（重要）:

現時点では、Team/Enterpriseプランであっても、監査ログ、Compliance API、データエクスポートにCoworkの活動履歴は含まれない。公式により「規制要件の強い業務には不向き」と明示されている。

位置づけ: 単発の応答ではなく、複雑なマルチステップ作業を代行し「整形済み成果物」を返すデスクトップ主体のエージェント。

最適ユースケース: 週次定型レポート作成、フォルダ自動整理。



Scheduled Agent Execution

スケジュール実行と並列処理、Computer Use連携



Local Files / Connectors

手動アップロード不要の直接アクセス (Read/Write)

ハイブリッド実行モデル



Formatted Deliverable

スプレッドシートや整形済みフォルダの納品

プラグイン（スキル+コネクタ+サブエージェントの束ね）を活用

プロダクト・マトリクス：目的と実行レイヤに基づく機能比較

	Claude	Claude Code	Claude Cowork
主目的	会話中心の汎用支援	開発タスクの自律実行	知識労働の自律実行
主な利用面	Web / Mobile / Desktop	Terminal / IDE / Web / Slack / CI	Desktop / Dispatch
実行の深さ	提案・生成主体	コマンド実行・ファイル編集・PR	アプリ/ファイル横断の完遂
入出力 (I/O)	テキスト/画像 → テキスト/Artifacts	指示+Repo → Diff/Test/PR	指示+フォルダ → 整理/レポート等
統合・拡張	Connectors / MCP	MCP / Chrome / CI	Plugins / Computer Use / MCP
対象ユーザー	全職種	開発組織	業務運用者・知識労働者

ガバナンス・スペクトラム： セキュリティと監査要件の適用範囲

厳格な統制
(High Control)

限定的な統制
(Limited Control)

Claude Code (最高レベルの統制)

- Enterprise ZDR (ゼロデータ保持) 対応。
- OSレベルのサンドボックスによる境界防御。
- 詳細な権限管理設定ファイル (リポジトリ運用)。

Claude (標準的なエンタープライズ統制)

- インコグニートモード (履歴・学習対象外)。
- Team/Enterpriseでのデータエクスポートと監査ログ対応。
- コネクタの生データは学習対象外。

Claude Cowork (コンプライアンス上の課題)

- 履歴はローカル保存主体。
- コンプライアンスAPI非対応。
- 機密フォルダの除外設定など運用面でのカバーが必須。

モデルラインナップとデプロイメントの選択肢

提供モデル (API/SaaS共通)

Opus 4.6

最高知能モデル (複雑な推論用)

Sonnet 4.6

速度と知能の最適バランス (メインストリーム)

Haiku 4.5

高速・低コストモデル

※パラメータ数などの内部仕様は非公開

導入形態 (※完全オンプレミス提供はなし)

Customer Organization

クラウド直提供

Anthropic Claude App / API
(Messages APIを通じた直接連携)。

サードパーティ統合 (自社クラウド利用)

AWS Bedrock, Google Vertex AI, Microsoft Foundry経由。

- メリット: 自社VPC内での完結、クラウドネイティブな活動ログ取得。
- 要件設定: データレジデンシ要件 (Global vs Regionalエンドポイント指定。リージョン指定は10%の価格プレミアム等が発生)。

ライセンス体系とAPI従量課金の構造

App / SaaS Plans (月額/席)

Free
\$0

Pro
\$17/月

(年契約換算。CodeとCoworkを含む)

Team
\$20/席

(年契約換算。一元管理)

Max / Enterprise
\$100~

/ EnterpriseはAPIレート従量追加。

API / Developer (Input / Output per MTok)

Opus 4.6
\$5 / \$25

Sonnet 4.6
\$3 / \$15

Haiku 4.5
\$1 / \$5

オプション: プロンプトキャッシュ対応。バッチ処理 (Batch processing) 利用で50%のコスト削減が可能。
Web Search機能は\$10/1K searches。Codeコンテナ超過料金あり。

エンタープライズ導入事例とROI



野村総合研究所

Claude × AWS Bedrock

日本語の複雑な業務文書レビューを自動化。実業務テストを実施し、レビュー時間を50%削減。



Spotify

Claude Agent SDK

大規模移行のオーケストレーションに統合。移行工数を最大90%削減し、月間650件以上のPRマージを自律変更トリガで実現。



クラスメソッド & 楽天

Claude Code

自律コーディングによる開発効率化。長時間の自律作業によるTime-to-marketの短縮とコードレビュー時間の大幅削減。

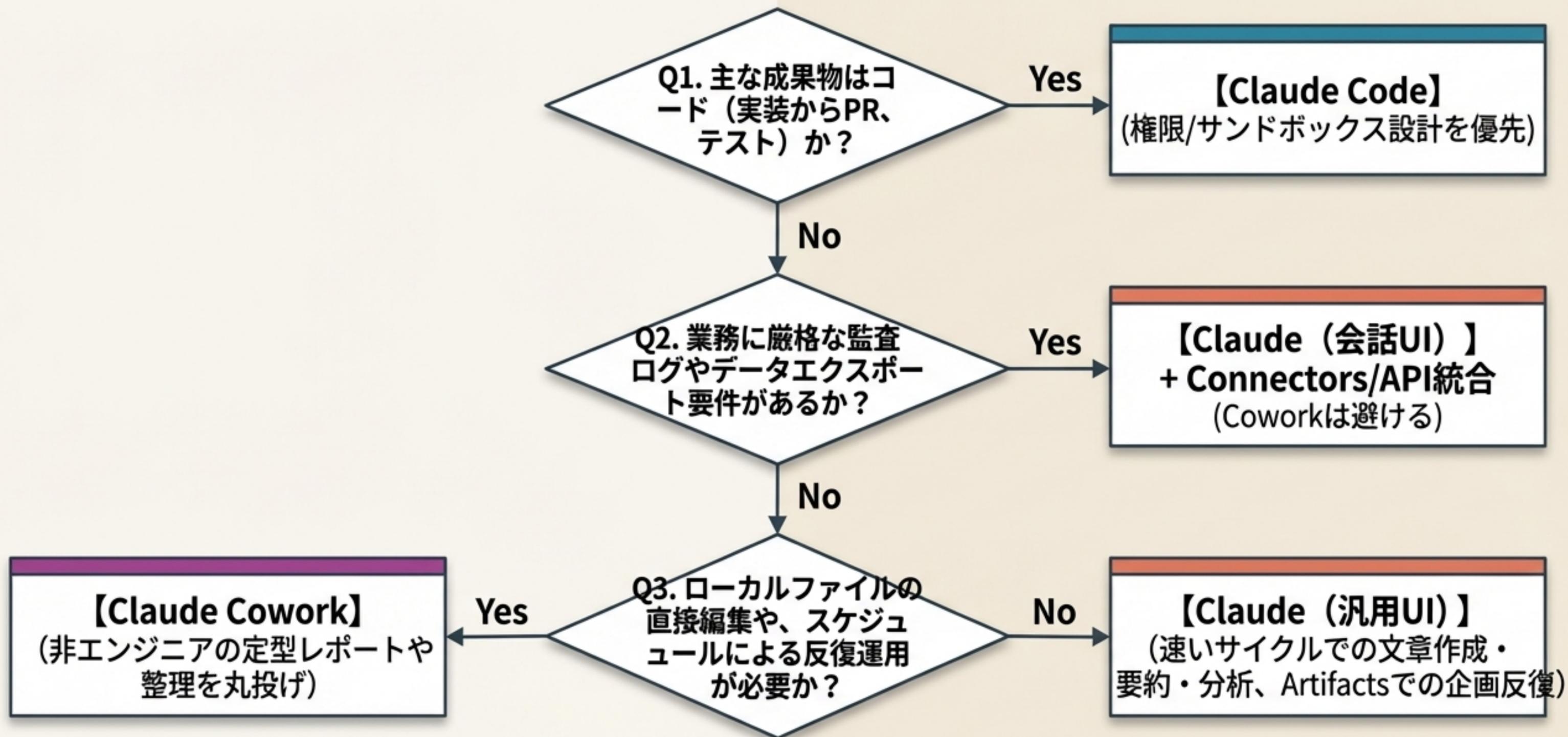


Microsoft（外部統合例）

Claude Cowork 技術

「Copilot Cowork」として、Claude Coworkの技術をMicrosoft 365 Copilotに統合採用（技術統合の強力な市場シグナル）。

導入判定フロー：ユースケースに応じた最適な選択



エグゼクティブ・サマリー：AI導入戦略の3つの要諦

1

エージェント適用の全社拡張（Agentic Expansion）

開発エンジニアに特化した「Code」による実装完遂から、知識労働者向けの「Cowork」による成果物納品へ。自律型AIの適用範囲が特定部門から全社へ拡大している。

2

要件に応じた統制レベルの使い分け（Adaptive Governance）

強力なZDR（ゼロデータ保持）やサンドボックスを持つCodeと、監査ログ未対応のCowork。セキュリティ・コンプライアンス要件の強弱に応じたプロバイダ（Bedrock等）と製品の選定が不可欠。

3

共通統合レイヤによる文脈の接続（Unified Context）

ConnectorsやMCP（Model Context Protocol）を整備することで、安全な社内データを全製品に横断的に供給。AIの価値を「汎用知識」から「自社固有の業務実行力」へ引き上げる。